

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和7年度 第6回理事会 議事録

開催日時：令和8年2月26日（木）18時15分～19時10分

開催場所：久美愛厚生病院検査科 Web 併用（Zoom）

出席者：岡村、山口、酒井、乾、澤野、市川、渡邊、荻谷、上野、建部、中島、
林、高橋、森（栄）、森（幸）、倉家、前田、帖佐、服部、日比

欠席者：中尾、小西、森本、安藤、菊地

議長：岡村（会長）

議事録：日比（庶務部長）

報告事項および議題

1. 関係各所からの報告【日臨技・県・厚労省・その他】 [岡村会長]：資料配布済み
以下の資料内容について確認をお願いし、一部内容に補足説明を行った。

- ① 日臨技より、会費の送金等の資料について
- ② 岐阜県副知事より挨拶文
- ③ 日臨技より、令和8年度タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会
開催方法・開催マニュアルの変更について
- ④ 県技師会より、地区理事・小西理事退任について：
本来は補欠選挙での補充が必要かもしれないが、任期が少ないこと、定款における
理事の定数を満たしていることからこのままとする。
- ⑤ 岡村会長より「定款等」の提案事項
- ⑥ 令和7年度 岐阜県臨床検査技師会 月別決算表1月まで提出用
- ⑦ (R8年度) 事業計画（各部長から）

2. 中部圏支部医学検査学会進捗報告 [山口副会長]

- ① 中部学会 HP バナーが出来次第、岐臨技 HP に掲載する。
- ② 4月より岐臨技 HP にて演題募集を始める。
- ③ 実行委員会よりランチョンセミナー、スイーツセミナーの協賛企業が予定に達してい
ないため岐臨技として協力できないかとの要望があった。これに対し、協賛は日臨技
からは禁止されている。しかし、岐臨技企画としてスイーツセミナーを開催すること
は不可能ではないと回答、費用約10万円は予備費からの支出となると思われる。
出来るだけ協賛企業獲得に向けて頑張ってもらおう。

3. タスク・シフト報告 [岡村会長]（責任者；中部国際鈴木先生からの報告）

2026.2.8（日）岐阜医療科学大学（11/8 受付開始、11/20 定数となり受付終了）

県外からの申し込みとして三重県 1、富山県 1、愛知 2 名
これまで全 11 回行い、634 名の修了となった。
今後は中部地区として開催する予定。

4. 議案事項 [岡村会長]

【第 1 号決議案】定款改定案（資料）

- ・定款の変更は理事会で承認を頂けた場合に次回定時総会の決議案とします。
- ・定款：第 23 条、第 24 条、第 34 条、第 11 章

* 第 1 号議案について全員一致で可決した。

【第 2 号決議案】規則改定案（資料）

- ・規則については理事会決裁事項となるため今理事会での決議案として採択。
可決された場合には定款に関係の深い規則については定款可決の場合に限り定款変更にあわせての運用開始となる。
- ・組織運営規定：第 2 条、第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 9 条、第 10 条、第 15 条、
第 18 条、第 19 条、第 23 条、第 24 条、第 27 条
- ・旅費規程：第 11 条
- ・役員選挙規定：第 12 条、第 29 条、第 32 条
- ・名誉会員規定：第 6 条、第 9 条
- ・慶弔規定：第 3 条、第 4 条、第 5 条、第 11 条
- ・個人情報取扱規定（メール等の連絡手段・個人情報取扱い）

【前回の提案】

- ① 会長の選任方法を信任投票（選挙）と理事会互選の 2 段階にしたい。
毎回会長の人選に苦慮している。理事会互選ではまず地区理事に選出してもらうことが必要だが各地区の事情がある。このことが人選を難しくする要因の一つと考えられる。そこで地区理事と関係なく人選できるように信任投票も導入したい。立候補者を選定できない場合を考え理事会互選との 2 段階構えとしたい。
- ② 日臨技理事を岐臨技理事兼務としたい。
岐阜県担当日臨技理事を岐阜県臨床検査技師会会長が兼務しない場合には日臨技とのパイプ役として地区理事とは別に日臨技担当理事（部長級）として招聘する。
- ③ 会長が議長の場合、会議収集が困難となる場合があるため、会議の進行について議長を会長から副会長へ変更したい。（一般的には会議の進行は補佐役が務めることが多い）
- ④ 会長が地区代表を兼ねると業務量が多くなることや、代表が決まっていないと意見が出にくいいため、代表地区担当理事を選定したい。
- ⑤ 一部、現状に即していない部分の変更として、広報宣伝部の業務内容にホームページの管理を追加する。

【第4回常務理事会での意見と不足事項の追加】

- ① 定款：第11章 「個人情報取扱」及び規則に個人情報取扱規定
補足として
- ・メールを正式な連絡手段として明確化
 - ・Cc/Bcc・メーリングリストの利用を明文化
 - ・理事就任時のアドレス登録ルールを明記
 - ・上位団体システムからの個人情報取得権限を規程化
 - ・個人情報保護法に対応した安全管理条項を追加
 - ・詳細は別規程で柔軟に運用できる構造
- ② 組織運営規定：
- 各会議等の開催方法に、リモート併用開催を追加
- 第4章 部と運営 第18条に地区理事からの部員選出を明記
- ③ 旅費規程：別表 宿泊費を実費（日臨技規定に準拠する）と明記
- ④ 役員選挙規定：第7章 会長の信任投票を明記
- ⑤ 名誉会員規定：第6条 名誉会員の資格喪失を明記
- ⑥ 慶弔規定：（慶祝）第3条「本人の申し出があった場合に限り」を追記
- （見舞）第4条「本人の申し出があった場合に限る。また、事象があつてから1か月以内の申し出に限定して過去に遡つての支払いは行わない」を追記
- （弔意）第5条（1）「申し出があった場合に限る。また、事象があつてから1か月以内の申し出に限定して過去に遡つての支払いは行わない」を追記
- 生花一対を生花一基へ変更
- （4）「現役役員の実父母及び子の死亡については弔電をもって弔意を表す」を追記
- ⑦ 個人情報取扱規定（メール等の連絡手段・個人情報取扱い）
- ◎組織運営規定18条の（3）「前項の部員とは別に必要に応じて地区理事からも部員を選出することができる。」に伴い組織調査部、広報宣伝部、渉外部の3部には2～3名の部員を選出し業務継承に繋げる。
- *第2号議案について全員一致で可決した。

【第3号議案】令和8年度事業計画案（各部長）

*第3号議案について全員一致で可決した。

5. 令和8.9年度岐阜県臨床検査技師会役員について [岡村会長]

令和8年6月現役員の任期満了となることに伴い次期役員候補の選定に入ることになった。

【交代予定の役員候補】

会長：森本現学術部長（岐阜地区）

副会長：下呂温泉病院 前田祐吾（飛騨地区）

副会長：未定；東濃地区又は西濃地区より選定する

庶務部長：岐阜医療科学大学 中川泰久（中濃地区）

会計部長：未定 乾会計部長一任（岐阜地区）

組織調査部長：未定

広報宣伝部長：未定

学術部長：岐阜大学医学部附属病院 石田秀和（岐阜地区）

監事：服部充延交代予定（慣例として岐阜市民病院からの選出）

【継続予定の役員候補】

渡邊精度管理事業部長、荻谷渉外部長、帖佐監事

6. 日臨技報告

報告事項は特になし

各事業部からの報告

【学術部】

特になし（森本部長欠席）

【広報宣伝部】〔市川部長〕

- ・令和8年度の事業計画書に、ホームページのバナー広告協力メーカーとしてタウンズを追加することを日比庶務部長に依頼。

【精度管理事業部】〔渡邊部長〕

- ・1/25に精度管理報告会を開催。60名程の参加があった。
- ・日臨技へ来年度の精度管理システムへの申し込みを行い、承認を得た。
- ・臨床化学の試料を昨年度と同様数の申し込みを行った。

【渉外部】〔荻谷部長〕

- ・3/23に、医療勤務環境改善支援センター運営協議会に出席予定。

【組織調査部】 [澤野部長]

- ・ 地区総会の参加者登録を終了。（東濃地区は未提出のため提出依頼をした。）

【会計部】 [乾部長]

月別決算報告（1月）（主たる内容）

<1月>

- ・ 経常収益；合計 209,559 円
正会員費：7,000 円、広告料：106,000 円、学会研修会助成金：48,500 円
- ・ 経常費用；合計 583,579 円
日当（事業費）：17,000 円、旅費交通費（事業費）：2,400 円、食卓費：2,028 円、配送料：56,538 円、消耗品費：4,513 円、印刷費：73,033 円、機器リース料：11,220 円、講演料等租税：1,137 円
日当（管理費）：10,000 円

* 第 63 回岐阜県医学検査学会予算案について、賛成多数で可決された。

【庶務部】 [日比部長]

- ・ 4月の理事会承認を得るにあたり、各部長に令和7年度事業報告書を作成してもらう。

各地区からの報告

【岐阜地区】

特になし

【中濃地区】

- ・ 2/17 に地区総会開催。20名の参加であった。

【西濃地区】

- ・ 1/30 に地区総会開催。
- ・ 同日、岐阜県医学検査学会の実行委員会も開催し、3/15 および前日の準備等について確認した。2/20 頃に各施設に学会の冊子を配布。市民公開講座のチラシも配布。

【東濃地区】

- ・ 2/20 に地区総会開催。

【飛騨地区】

- ・ 2月10日地区総会開催

①令和8・9年度地区理事として

下呂温泉病院 : 前田祐吾 (再任) [地区責任者]
高山赤十字病院 : 堀之上亜紀子 (新任: 施設内交代)
飛騨市民病院 : 中桐あさ子 (新任)

②高山健康まつり

開催方法が分散形式であった場合は不参加とすることで決定

③令和8年度拡大研修会開催

開催日: 令和8年11月15日 (日)
開催場所: 久美愛厚生病院 (久美愛ホール)
テーマ: 敗血症
企画案 (以下)
市民公開講座は開催しない予定。
上記内容にて学術部と協議する。

*令和8年度 拡大研修会 企画書 (案)

担当: 飛騨地区

日時: 令和8年11月15日 (日) 開始時間未定

会場: 久美愛厚生病院 (2F 久美愛ホール)

定員: 100名

市民公開講座: なし

【テーマ】 「敗血症」

【コンセプト】

これまでのように、特定分野の専門家が高度な知識を深めることを目的とした研修会ではなく、今回は一つのテーマを多角的に学ぶ新たな試みとして企画した。新人技師や当直業務などで専門外の領域に携わる技師を主な対象とし、各分野からの視点を取り入れた学習会を目指している。

今回選定したテーマである「敗血症」は、当直帯で遭遇する頻度が高い疾患であるにもかかわらず、微生物担当者以外の技師には苦手意識を持つ者も少なくない。

そのため、血液・凝固、生化学、一般検査、生理検査 (画像生理)、微生物といった各部門の特徴を生かし、それぞれの専門性を反映した講義を行うことで、より実践的で多角的な学習が可能になると考えている。

また、細菌検査担当者にとっても、CT・MRIなどの画像所見の解説や、各病院における診療・検査体制の違いを知ることは有益であり、部門を越えた知識共有の場として大きな意義があると考えられる。

【各部門の内容素案「各30分」】

① 検体部門 (会員講師)

【血液・凝固部門】

- ・白血球数、血小板数、線溶系（DD）などに着目した内容や血液像での連鎖形成など（詳細）白血球数の上がり方やどれくらいの値で敗血症を疑うか、どうして血小板が下がるか、どうしてDDが延長するかなど

【一般検査部門】

- ・髄膜炎を併発している敗血症として、リコールの見方など（詳細）外観、細胞数・種類、蛋白・糖など

【生化学・免疫部門】

- ・敗血症で見られる肝障害、腎障害、乳酸値、CRP、CKやプロカルシトニンについて、どの段階で高値になるかなど

【細菌検査部門】

- ・血培ボトルが陽性になった場合の対応
GNR、GPC、抗酸菌など
医師への報告方法。夜間・休日取るべき対応など

②生体部門

【生理検査部門】

- ・心エコーによるIEの症例報告数例など

【画像】（外部講師：診療放射線技師：45分）

敗血症時のCT、MRI、感染症のCT、レントゲンの見方

③医師（外部講師：45分）

敗血症を疑う場合に、医師としてどのような報告をもとめているかなど

【ランチョンセミナー】

- 1, 血培ボトルの原理、陽性率等（バイオメリュー？：30分）
- 2, プロカルシトニン
- 3, 敗血症時の抗菌薬について（製薬会社？）

【討論会：フォーラム】

医師、細菌検査担当、4～5名

夜間・休日の報告について医師の要望、各病院の対応などについて医師の意見

その他

- ・特になし

以上

議長 岡村明彦 印

議事録署名人 服部充延 印

議事録署名人 中野光洋 印